

(近年顕著になってきた地域課題)
「地域での対応が困難となってきた
生活課題の出現」

○買い物、ゴミ出し、除雪など日常生活に様々な支障

(課題の特徴)

公的サービスでは限界がある。

- 基準に合致しない。(制度の谷間が生じている。)
- 費用面で効率的でない。(ゴミ出し、電球交換などの軽易な手助け)
- 公的サービスにそぐわない。(冠婚葬祭の付き添い、ペットのお世話など)

地域内で日頃から孤立している人ほど影響が大きい。

- 高齢者などで、公的サービスに関する必要な情報の理解・活用が不十分で、かつ、身近な人のサポートが期待できない人が増加。

隣人等の善意で個別対応しているケースが多かった。

→ 安定的・継続的な支援の面で課題が残る。

2. 近年の福祉施策の全体的な方向性

「個人の尊厳を尊重する視点から、個々人の生活全体に着目し、たとえ障害があっても、要介護状態になっても、できる限り地域の中でその人らしい暮らしができるような(生活)基盤を整備していく。」

(厚生労働省「これからの地域福祉のあり方に関する研究会報告」)